



Title	退官記念号出版にあたって
Author(s)	入江, 幸男
Citation	メタフュシカ. 2004, 35(2), p. 1-1
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/5852
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

里見軍之先生、浅野遼二先生の退官記念号出版にあたって

里見軍之先生と浅野遼二先生が、2004年3月31日をもって、永い間勤めてこられた大阪大学を退官されました。このたび両先生のこれまでのご指導に感謝して、『メタフェシカ』第35号の別冊として退官記念号を出版することとなりました。

両先生は、大阪大学の文学部と大学院で学ばれ、共に旧「哲学哲学史第二講座」の初代教授の伊達四郎先生と、第二代の教授である高橋昭二先生の下で薰陶を受けられました。その後、それぞれ愛知学院大学と立命館大学で教鞭をとられることとなりましたが、浅野先生は、大阪大学医療短期大学部講師として阪大に戻られ、里見先生は、哲学哲学史第二講座の助教授として阪大に戻されました。以来、浅野先生は31年、里見先生は28年の永きにわたって、大阪大学で研究と教育に力を尽くしてこられました。その間、大学紛争があり、また教養部解体、大学院重点化などいくつかの大きな大学改革もあり、旧「哲学哲学史第一講座」と旧「哲学哲学史第二講座」の区別は解消して、学部は「哲学・思想文化学専修」となり、大学院は「哲学哲学史」と「現代思想文化学」という二つの専門分野となりました。この様な大学改革に伴って何度か配置換えがありましたが、里見先生は、「哲学哲学史」の教授として、浅野先生は「現代思想文化学」の教授として定年退官なされ、ともに大阪大学名誉教授となられました。

両先生のこれまでのご研究については、後の「功績覚書」でご紹介するとおりですが、その幅広い優れたご研究にもとづいて、これまで多くの学生を教えて社会に送り出し、また多くの研究者を育てられました。私たちが受けてきたその測り知れない学恩に対して、ここに深く感謝申し上げます。永い間、有難うございました。

入江幸男